

会計名			都市交通計画調査推進事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	都市交通課		
款	項	目					担当係	計画係		
8	4	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	総合交通対策の推進							
	目的	平成24年6月に策定した都市交通戦略を推進し、基本理念である「ひとと環境にやさしく、持続可能な都市交通体系」の構築を目指す。	主たる内容	都市交通戦略に掲げる施策の実施 ○道路空間の再配分の検討 ○公共交通の利用実態調査、利用促進施策の検討 ○自転車ネットワーク計画の検討						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成24年度 ~ 平成42年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
						・刈谷市都市交通戦略策定 ・刈谷市都市交通戦略の国土交通大臣認定を受ける ・刈谷市都市交通協議会開催 ・刈谷市都市交通戦略策定パネル展示会 ・自転車ネットワーク計画策定		・刈谷市都市交通協議会開催 ・公共交通（バス交通）に関する調査 ・刈谷駅北口交通まちづくり基本構想策定 ・刈谷市都市交通戦略策定パネル展示会		
成果 (できたこと)		・刈谷市都市交通協議会を設置し、「刈谷市都市交通戦略」を策定し、パネル展示会を開催した。 ・「刈谷市都市交通戦略」の国土交通大臣認定を受けた。 ・「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」策定を受け、刈谷市都市交通戦略で提示した素案に修正を加え、各路線ごとに基本的な方針を検討した。								
課題 (できなかったこと)		・総合交通対策を進めるために、市内企業と連携を図り、自動車移動の円滑化などの施策を検討すること。 ・自動車の適正な利用を推進するために、公共交通（バス交通）の調査、刈谷駅北口の交通に関するまちづくりについて検討を行う。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標		自動車以外の交通分担率（％）		24.4	—	24.4	24.6	26		
成果指標		車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（％）		60.2	—	60.5	61.5	63		
他市との比較検証		・交通戦略は愛知県内8市町で策定されている。 （近隣市の自動車以外の交通分担率実績（第4次パーソントリップ調査（H13））： 刈谷市 39.3% 安城市 39.0% 豊田市 35.0% 小牧市 38.4% 岡崎市 43.4%） ・名古屋市、安城市では自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	3,909	12,031	合計	3,908,545 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	80,400 円		
		一般財源	0	0	3,909	12,031	旅費	3,520 円		
	職員人件費 ②		0	0	7,428	11,054	需用費	270,375 円		
	総事業費 (①+②)		0	0	11,337	23,085	委託料	3,554,250 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			公共施設連絡バス運行管理事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	都市交通課		
款	項	目					担当係	運輸係		
8	4	1								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	公共交通の充実							
	目的	市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行し、公共施設利用の利便性の向上を目指すとともに、広く一般市民、特に交通弱者と言われる高齢者等の積極的社会参加と、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、通勤通学の利用を促進する。	主たる内容	○運行路線 6路線（始発～終着） 東境線（刈谷ハイウェイバス～ひまわり） 西境線（洲原温水プール～ひまわり） 小垣江線（小垣江駅東口～逢妻駅南口） 東刈谷線（半城土町大原～生きがいセンター） 一ツ木線（総合運動公園～市役所） 依佐美線（東刈谷駅北口～小垣江駅西口） ○運行回数 1日8往復（東境、西境、小垣江、東刈谷） 1日5往復（一ツ木、依佐美） ○利用料金 無料						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略、環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン							
		根拠法令	刈谷市公共施設連絡バス運行事業実施要綱							
		対象者	対象者を特定せず	事業期間	平成9年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		総利用者数	491,934人	総利用者数	532,787人	総利用者数	611,099人	総利用者数	620,000人	
運行路線別内訳			運行路線別内訳		運行路線別内訳					
東境線		119,076人	東境線	128,673人	東境線	128,631人				
西境線		128,013人	西境線	139,605人	西境線	137,749人				
小垣江線		134,380人	小垣江線	142,422人	小垣江線	145,285人				
東刈谷線		110,465人	東刈谷線	116,367人	東刈谷線	112,913人				
			一ツ木線	2,684人	一ツ木線	42,111人				
			依佐美線	3,036人	依佐美線	44,410人				
成果 (できたこと)		平成24年3月にダイヤ改正し、通勤時間帯の遅延幅の縮小を図り、また、一ツ木線と依佐美線を新設したことにより、利便性の向上を図った。								
課題 (できなかったこと)	路線の充実や増便により順調に利用者数を伸ばしてきたが、増便やバス停まで遠い地区への乗り入れの要望、バス停の屋根やベンチの設置要望に対し検討する必要がある。 また、広告収入や愛称の公募などを検討する必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標	利用者数（人）				491,934	532,787	611,099	620,000	630,000	
指標										
他市との比較検証	近隣市では、規模の大小や有料・無料の違いはあるが、各団体にコミュニティバスを運行している。 安城市 あんくるバス《10路線 利用料100円》、碧南市 くるくるバス《4路線 利用料無料》、知立市 ミニバス《5路線 利用料100円》、高浜市 いきいき号《5路線 利用料100円》									
C 事業 コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費 ①		173,099	187,694	204,380	212,453	合計	204,380,253 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	292,256 円		
		一般財源	173,099	187,694	204,380	212,453	役務費	574,000 円		
	職員人件費 ②		3,262	4,307	8,135	8,475	委託料	198,226,197 円		
	総事業費 (①+②)		176,361	192,001	212,515	220,928	使用料及び賃借料	463,050 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名		地方バス路線維持費補助事業				担当部	都市整備部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	運輸係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	乗合バス路線を維持存続することにより、愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺への移動の利便性を向上させる。			主たる内容	名鉄バスが運行する刈谷・愛教大線を維持するため、経常費用と経常収益の差額を補助する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成19年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		利用者数	60,303人	利用者数	53,652人	利用者数	53,503人	利用者数	55,000人
成果 (できたこと)		北部地域の利用者代表である、愛知教育大学と協議を行い、鉄道等の乗り継ぎ利便性を向上させるダイヤ改正を行った。							
課題 (できなかったこと)		利用者増に向け、ハイウェイオアシスへの直接乗り入れや、公共施設連絡バスとの連携等を検討するとともに、有料のバスとしての差別化を明確に位置づける必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		利用者数(人)			60,303	53,652	53,503	55,000	57,000
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費①		11,791	11,587	14,673	15,000	合計 14,673,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 14,673,000円		
		一般財源	11,791	11,587	14,673	15,000			
	職員人件費②		725	718	672	700			
	総事業費(①+②)		12,516	12,305	15,345	15,700			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			名鉄富士松駅駅舎改修負担事業				担当部	都市整備部	
款	項	目					担当課	都市交通課	
8	4	1					担当係	運輸係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	現在、名鉄富士松駅には上りホーム側のみ駅舎改札口があるため、下りホーム側に駅舎改札口を新設し、駅利用者の安全性と利便性を向上させる。			主たる内容		下りホーム側に駅舎改札口を新設する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令							
		対象者	対象者を特定せず			事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		_____		_____		・通信工事 ・信号工事		・建築工事 ・土木工事	
成果 (できたこと)		名古屋鉄道(株)と基本協定、年度協定を取り交わし、通信工事、信号工事を施行することができた。							
課題 (できなかったこと)		名古屋鉄道(株)と年度協定を取り交わし、駅舎建築工事を施行し、年度内に完成する必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		利用者数(人)			872,000	878,628	904,246	949,000	1,022,000
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	26,080	242,507	合計 26,080,000 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 26,080,000 円		
		一般財源	0	0	26,080	242,507			
	職員人件費 ②		0	0	601	1,069			
	総事業費(①+②)		0	0	26,681	243,576			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		備品等整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	運輸係	
8	4					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	都市計画関係事務執行の際に現場調査等の記録をするため。 機構改革により都市交通課として業務を推進する上で、現場等の記録をするためにデジタルカメラを使用する。(現在使用可能なデジタルカメラが無いため。) また、事務処理を円滑に行うために、テブラを新規購入する。			主たる内容	デジタルカメラ	1台		
				テブラ		1台			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市職員		事業期間	平成24年度 ~ 平成24年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
				デジタルカメラ 1台 テブラ 1台					
成果 (できたこと)									
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	28	0	合計	28,260 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	14,700 円	
		一般財源	0	0	28	0	備品購入費	13,560 円	
	職員人件費 ②		0	0	21	0			
	総事業費(①+②)		0	0	49	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							